

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

吉野ヶ里町長

市町村名 (市町村コード)	吉野ヶ里町 (41327)
地域名 (地域内農業集落名)	松隈地区 (小川内、永山、坂本、松隈)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年11月29日 (第2回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

当該地区は、町の最北端に位置する中山間地域である。坂本地区の一部は、圃場整備されているが、大部分が圃場整備されていない農地となっている。主な作物としては、水稻の栽培が行われている。現在の担い手により地区内の農地は管理されているが、圃場整備されていない農地が多く、水路が整備されていないため耕作が難しいことが後継者不足の一因ともなっている。また、イノシシによる被害が多いことも課題である。

(2) 地域における農業の将来の在り方

将来に渡り水稻を基幹とした水田農業を主体に農業生産を推進するとともに、圃場の集約化を促進し、集落営農、農業法人、認定農業者、中間管理機構等を活用した担い手の確保が重要である。また、地域の活性化を図るため新たな作物の導入や有機農業への取組が望まれる。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	7.7 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	7.7 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、新たな担い手の確保を模索する。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
現在の担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、新たな担い手の確保を模索する。
(2)農地中間管理機構の活用方針
農地バンクへの貸付面積を拡大し、担い手への集約化を進める。
(3)基盤整備事業への取組方針
現在のところ基盤整備事業の計画はない。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
法人や他地域からの参入について申し出があれば検討する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
町内に農業支援サービス事業体はないため、利用の計画はない。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

予算の範囲内で防護柵設置の補助を行う。